

平成29年度第3回 芦屋市交通計画協議会 会議録

日 時	平成29年11月9日（木） 10：00～12：00
場 所	芦屋市役所 東館3階 大会議室1
出席者	会 長 福島徹 副 会 長 正司健一 委 員 高田和志（代理），大谷健太郎（代理），村田直磯，正垣あおい 下山智，宮本博嗣，秋山秀則，楠葉誠司，奥野雅弘，北野航（代理） 今東直治（代理），高木良彦，山城勝，寺本慎児 事 務 局 白井宏和，谷川英治，三近康平，中西久
事務局	都市計画課
会議の公表	<input checked="" type="checkbox"/> 公 開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 部分公開 <非公開・部分公開とした場合の理由>
傍聴者数	2人

1 会議次第

- 1 開 会
- 2 会長挨拶
- 3 議 事
 - (1) 委員出席状況報告・会議の成立報告
 - (2) 芦屋市総合交通戦略（素案）について
 - (3) 芦屋市総合交通戦略の策定スケジュールについて
- 4 そ の 他
- 5 閉 会

2 協議経過

○会 長 本日は第3回になりますが，前回に様々な貴重なご意見を頂きました。そのご意見をこの戦略案の中に盛り込めるようにいろいろ努力していただきました。本日は素案について，ぜひまた忌憚のないご意見をいただければと思います。よろしく願いいたします。

それでは，会議の成立と傍聴希望者について事務局から報告願います。

○事務局 まず，委員の出席状況ですが，本日委員 18 名のうち，代理出席を含めまして 16 名の方にご出席していただいております。過半数を超えておりますので，会議は成立しております。次に会議の傍聴でございますが，本日，傍聴希望の方が 2 名来られております。入室していただいでよろしいでしょうか。

○会 長 議論する内容については個人情報等に関するものはないかと思いますが，よろしいでしょうか。それでは入室して頂きます。

（傍聴人入室）

○会 長 それでは，お手元の会議次第に従いまして，議事に入らせていただきたいと思います。本日の議事として，芦屋市総合交通戦略の素案について，ご意見をいただき，その後，この総合交通戦略の策定スケジュールについてもご説明いただきたいと思いますので

よろしくお願ひいたします。それでは事務局の方から説明をお願ひいたします。

○事務局（議事（２）総合交通戦略素案，（３）策定スケジュールについて説明）

○会長 ありがとうございます。前回の協議会でいただきました意見に対して，事務局の方で検討していただいて，ご説明のような形で計画に盛り込んでいただいております。それでは何かお気付きの点，ご意見等あればお願ひしたいと思いますが，いかがでしょうか。

○委員 施策の方向性「道路環境の整備」の中の「生活道路等の整備」で，「踏切などの安全対策を検討し」と書いてあるのですが，具体的にイメージされている踏切はありますか。

○事務局 現時点で，具体的な箇所についての検討を行うというものではありませんが，今後，個々の状況や課題を踏まえ，対応について検討していかねばならないと考えております。

○会長 内容についても検討していくということですね。具体的にはこれからということですが，踏切にも目を向けたいという考えかと思ひます。

○委員 基本方針として，３つの方向性から，それぞれ具体的な素案を列挙していただいているので分かりやすいのですが，もう少し具体的に書いていただいたらという所を何点かご意見させていただきます。まず，施策の方向性「鉄道駅へのアクセス性・利便性の向上」で，当然鉄道駅へのアクセスを向上することは大事なことで，４駅それぞれ具体的に書かれていますが，JR芦屋駅の南側で，市街地再開発事業で駅前広場や周辺道路を整備しますと言われていて，次の重点施策に具体的な実施内容のメニューは書かれていますが，どのエリアでどんな整備をしようかというのを出せる段階ではないのですか。市民の方はイメージしにくいと思ひますので，市街地再開発事業の計画をここで出せるなら，そのエリアと場合によってはパースみたいなものを出した方が分かりやすいかと思ひます。計画の段階にもよると思うのですが，この交通戦略の中でも目玉の１つになってくるかと思ひます。

次に，「阪神芦屋駅周辺の整備」で，「芦屋市の交通バリアフリー基本構想」というのがあります。乗降客数の多い鉄道駅を中心に，ある一定のエリアを設定して，その中で鉄道と道路交通を円滑にするためのバリアフリーの重点経路を整備していきましょうという計画だと思うのですが，現在この状況がどうなっているのか。乗降客の多い鉄道駅で言うと阪神芦屋駅もそうですけど，JR芦屋駅もこの中に，含まれているのではないかと思ひます。芦屋市には現在このような地域でバリアフリー基本構想があつて，それがどういう計画で，概ね完了してしまふと言ふのか。バリアフリー法のポイントとしては，全部バリアフリー化をするのは難しいから，利用者の多い所から優先して実施していきましょうということなので，それが今現在どういう状況なのか，記載した方が良くと思ひます。それはある程度できていて，今後はその周辺や市内全域のバリアフリーを重点的に進めていく計画なのか，ちょっと気になりました。

それから，施策の方向性で「公共交通利用環境の向上」はすごく大事なことで，特に芦屋市は，東西方向の鉄道は相当発達しているけれども，南北方向のバスが重要になってくるので，高齢化において，公共交通に転換していただくためには，ここにあるようなノンステップバスとか，ＩＣカードとか，バスロケーションシステムとかすごく大事だと思ひますが，現在，どんな状況なのかを教へていただければと思ひます。バス事業者さんも，優先順位の高い所から実施していただいていると思ひますけど，予算の関係もあるので，今後どのよう

に実施していかれるのか。その状況を入れてみてはどうかと思いました。

○事務局 主に現状のご説明になるかと思いますが、まずJR芦屋駅南の市街地再開発事業については、都市計画決定まではしているのですけれども、事業化には至っておりませんので、今現状で記載できる範囲として書かせていただいたものとしてご理解いただければと思います。次に、阪神芦屋駅周辺でのバリアフリー基本構想ですが、これにつきましては、平成19年に基本構想を策定しまして、その後、周辺地区のバリアフリー化に取り組んでおり、一部課題として残っている部分もございますが、概ね整備が完了しているという状況になっています。阪神芦屋駅周辺の選定理由ですが、乗降客数で申しますとJR芦屋駅が一番多い駅ではあるのですが、市内各駅及び駅周辺のバリアフリーの状況や、公共施設の配置状況などから検討した結果、阪神芦屋駅周辺を優先的に取り組んでいくということで、現在の基本構想を策定したという経緯でございます。実施状況に関する記載につきましては、計画の全般を見ながら検討させていただきたいと思っております。それから、公共交通の利用環境ですが、ここでは、「検討」するものと、「継続」するものがあり、今現在の状況ということをどこまで具体的に記載できるのか、こちらにつきましても、記載内容については検討させていただきたいと考えております。

○委員 継続の部分は実際に実施されているなら、はっきりアピールした方が良いと思ったものです。阪神芦屋駅周辺でもそこに重点的に投資して、バリアフリー化が向上しているのであれば、今までこの事業を実施しましたということに記載したらどうかという意味です。紙面の都合もあると思っております。

○会長 JR芦屋駅の南も都市計画決定している訳ですよ。そうするとその段階での内容の公表は問題ないですから、事業化に向けて取り組んでいるということで、参考として都市計画決定の図を出すのも一つかもしれません。市民の方がイメージを持ちやすいように、可能な範囲で整理をしていただければと思います。

○委員 10年間の計画なので、前期5年とその5年の取り組みを踏まえて、10年目の目指す姿というのが最終的な将来像になってくるのかなと思うのですけれども、その時間軸というのが見えてこないように思います。実施時期で「継続」と書いてあるところが、すぐに取り組むべきものや、もう既に取り組んでいるものであり、また「検討」と書いてあるところが、それを踏まえて10年後に実施していくべきものということになるのかなと思います。そういった時間軸での整理という観点で、もう少し掘り下げられるのではないかと思います。

それと、将来の目標値のところは、平成32年の目標値になっているのですが、途中経過になるのではないかなと思いますので、最終的な目標値というのは設定されないのかなと疑問に思いました。

それから、実施時期のところは、5年という短期で取り組めるものと、10年という長期で検討すべきものというふうに考えた時に、モビリティマネジメントの推進や、休憩施設の設置は5年位でも実施に進めていくことができる部分があるのではないかなと思いました。それが全体的な部分での意見です。

もう一つ、施策の方向性「交通ネットワークの充実」で、「既存の公共交通等を補完する施策の検討」ということで、これは長期の話かと思うのですけれども、施策例のところ

「しおかぜ」を例として挙げておられて、このことはすごく良いことだと思います。都市部においても高低差がある地域で高齢化が進んでいる所では、非常に短い距離の移動が課題になっております。この事例を選ばれたということは、高低差のある所、また高齢化が市内平均よりも進んでいる地域を想定されているのではないかなと思います。ですので、実施箇所を市内全域とされていますが、現状分析で分けられた5つの地域区分で具体的な箇所を記載するとか、それが難しければ、「基本方針と課題との関連性」で書いてあるような、「高低差のある地形特性の地域」と書いた方が想像しやすいですし、地域の方へ「こういうことを考えていきませんか。」という提示としても分かりやすいと思いますので、検討いただければと思います。

○**会長** 目標値として、無電柱化率の数字は、たぶん今あるものを使われていると思いますが、少し庁内で協議していただいて、新しい数字を少しでも入れられるようでしたら、検討していただきたいと思います。その他についてもその方向で進めて行けそうな気がします。

○**事務局** まず、目標値につきましては、ご説明の中でも申し上げましたように、上位計画で示す数値として、採用したものではありませんが、他の施策での目標値と整合が図れるようでしたら、現時点と平成35年の数値で記載するよう検討させていただきたいと思います。それと時間軸の整理について、事務局の考え方としましては、重点施策に位置付けているものは基本的には前期に実施するものとして整理しておりますけれども、そのあたりが明瞭でないということかと思っておりますので、こちらにつきましても表記は検討させていただきたいと思います。それからコミュニティバスの事例ですが、委員からご発言いただきましたように、高低差のある地域での取り組みが主となってくるものと考えておりますが、特に地域を限定せず、取り組みの一例としてお知らせをさせていただきたいというように考えております。

○**副会長** 評価指標と目標値のところをご検討いただけるとしたら、市全体の住みやすさに関してもう少し指標を考えますという書き方には、気を付けていただければ良いかなと思います。

あと、自転車の走行環境の整備に関わる話があまり出てきてないのですが、もし何かお考えになっておられたら、入れておいた方が良いと思います。

それから、「JR芦屋駅周辺の整備」の重点施策のところ、ターミナルの整備をされる際、バス路線の整備もターミナルに合わせて今後いろいろ議論するという話なのですが、利用者にとってみれば結構大きな話で、それが施策の方向性「交通ネットワークの充実」の中にある、バス路線の再編・利便性の向上という項目とリンクしているようなリンクしてないような。一方で、施策概要の中では、バスの話が全然出ていないという感じになっているので、整合をとっていただいた方が良いのではないかなと思いました。

次に、「基本方針1」と「施策展開」で、「高齢者にやさしい交通環境の充実」と書かれているのですが、言わずもがな高齢者だけでなく、妊婦さんとか、障がいのある方とか、ベビーカーを押している方とか、みんな入っているのだと思うのですが、このままの表現だと高齢者だけが目立ちすぎます。いわゆる交通弱者という言葉も響きが良くないかもしれないので、表現が難しいと思うのですが、表現にひと工夫加えて配慮された方が、市民の皆さんにとっては良いのではないかなと思います。

○事務局 まず今回、「高齢者にやさしい交通環境の充実」として挙げさせていただきましたのは、前回の協議会で、高齢化社会が進む中で、高齢者への施策を強調、あるいは他との濃淡を付けてはどうかというご意見がございましたので、関連する施策について取りまとめ、若干強調させていただいたということが意図でございます。ただ、今おっしゃっていただきましたように、高齢者のみを対象とするものではありませんので、表現については再度、検討させていただきます。

○会長 人にやさしいでも良いかもしれないですね。

○事務局 それから「バス路線の再編・利便性向上」ですが、直近の取り組みとして、やはりJR芦屋駅南地区の整備がひとつの契機になると考えておりますので、「JR芦屋駅周辺の整備」の中で重点施策として位置付けさせていただいておりますが、当然そこで、駅南北でのバス停の配置ということが議論としては出てきますので、同時に市内全体の路線についても検討が必要かと考えております。また、JR芦屋駅南地区の整備が完了した後も、引き続き、運行経路等の検討は実施していかなければならないということで、施策の方向性「交通ネットワークの充実」の中でも、記載しているものでございます。

自転車につきましては、来年度からの実施となっておりますが、「自転車ネットワーク整備計画」の策定を進めております。この中で自転車の利用環境についての検討を行っていくこととなりますので、まだ具体的な内容を書ける段階まで策定が進んでおりませんが、計画に基づき、自転車利用についての環境整備を進めていくということと、計画策定の進捗も見ながら、具体的な内容が記載できるようであれば対応させていただきたいと思っております。

○副会長 計画を作られるのだったら、具体でなくても方向性だけでも一言触れておいてもらえば良いのではないかと思います。

○委員 総合交通戦略の策定スケジュールでご説明いただいたように、12月17日から1月26日まで市民意見を募集されるということで、恐らく市のホームページにも載せられて実施されるかと思うのですが、全部で約80ページありますので、趣旨をまとめた概要版みたいなものも合わせて載せていただいて、市民の皆さんに見ていただいたら、より分かりやすいのではないかと思います。

○会長 将来像と基本方針といったあたりを中心にした概要版があれば、日程的に大変厳しいかと思いますが、準備いただくと良いかなと思います。

○委員 PDCAの流れと5年経ったときに見直しということで、記載いただいております。評価についてはその見直しの手前の段階かと思いますが、5年で評価してそこで改善というよりは、例えば2、3年経った途中段階の評価があると良いかと思います。あと、「交通安全教育の推進」で、弊社でも課題認識しており、安全についてもっと啓発をしなければいけないと思っています。弊社ですと、線路4本ある踏切を横断していただくことになるので、色々なトラブル事情が本当に顕著になっており、シニアカーご利用の方もそうですし、ここでは一般的な安全教育についてかと思いますが、ぜひ色々な方と協力して、特に踏切で残念な事故が起こらないようにしたいと思います。どこまで記載できるかというのはあると思いますが、自治体の方とご協力させていただき、進めていきたいと思っております。

評価・指標のところでは、今後設定を検討ということかと思いますが、芦屋市自体を

もっと魅力的なまちにするということで、住宅都市としての価値の向上は、今回の交通戦略のアプローチでも実施していくかと思うのですが、人口についても、交通戦略により新たに芦屋市に住んでいただく方を増やせられたら良いと思っています。指標を見たときに、今住んでいる方にとって魅力があるということもそうですけど、さらに芦屋市に住んでいただく方を増やしていくという部分に繋げていけるかなと思います。ご検討の際に考慮いただければと思います。

○事務局 進捗による評価ですが、5年後に1回で行うということではなく、現在、事務局で考えておりますのは、この協議会の場を活用させていただくことや、協議会の中でも専門部会を設置することで定期的なチェックができるのではないかと考えております。時期として毎年になるのか2、3年になるのか、まだ案としては固めてはおりませんが、進捗確認を行っていきたいと考えております。

次に、踏切に関する啓発について、今後の取り組みとして事業者さんとも協議をさせていただきながら進めて行ければと考えておりますが、本戦略においても、記載については検討させていただきます。

それから、人口が減少する中、評価、指標の観点で、こういった形で人口流入を進めていけるのかということだと思います。例えば指標として、駅の利用者数の動向ということで評価を行うことも1つかと思いますが、これにつきましても検討させていただきたいと思います。

○会長 当然、社会増にも視点が置かれなければいけないと思うのですが、どこまで触れられるのかは難しいところがあるかなと思います。PDCAについては可能であれば、例えば5年に1回は、協議会委員の皆さんから意見を聞いて、しっかりとした評価をしてサイクルをまとめるということの書き方を少し工夫していただくと良いかなと思います。それから安全教育は、文言的に言及は別として、ぜひ情報共有しながら連携できれば良いのではないかと思います。高齢者に対しても出前講座などで実施してもいいと思いますし、大切なことだと思います。

○副会長 基本方針1の「安全・安心で移動しやすい交通環境」ですが、書き出しが「徒歩、自転車、自動車、公共交通がそれぞれの役割分担のもと」とあり、それぞれ交通手段に応じて役割分担をさせましょうという話で始まっているのですが、その後が「安全に配慮した道路等の施設整備を行うとともに」ということで、文章が繋がっていないのでお考えいただければと思います。

それと「交通環境」という言葉がありますが、我々専門家でも、できるだけ使わない方が良いと思っているのですが「道路環境の整備や交通環境の充実」というのは、「交通環境の整備・充実」とまとめてはどうでしょうか。「道路環境の整備や公共交通環境の充実」といった言い方もありえますが、それだと歩行者も抜けてしまう気がします。とりあえず書き方を、再度ご検討お願いできればと思います。

あと、基本方針1で「公共交通の利用環境」に言及されているのは良いことだと思うのですが、次の「基本方針と課題との関連性」のところでは、公共交通の利用環境の話が出てきていませんので、整合を取っていただいた方が良いかなと思います。それと、「JR芦屋駅周

辺の整備」の重点施策で、バスロータリーの整備のところ、写真が出ているのですが、駅前
の整備として、あまり良い例とは思えませんので、差し替えられた方がいかと思います。

○事務局 文章も含め、再考させていただきたいと思います。

○会長 ここでの交通環境というのは、道路の環境と交通サービス等を含めた全体的な人の
交通の環境を整備しますという意味合いですか。

○副会長 交通という言葉は道路も全て入るので、そういう使い方がいだろうと思います。
道路を前に出してしまうと交通環境ってなんだろうという話になってしまいますので。一般
の方に交通環境って言葉が通じるのかということは気にはなりますが。

○会長 ここを直すとなるとちょっと大変ですが、文言の整理ができればお願いします。

基本方針3「高質で快適なくらしを実感できる交通環境」の「ネットワークの形成」は、
交通ネットワークの形成という意味ですか。

○事務局 概念としましては、市内に点在しております、史跡とか歴史的建造物を繋いで、回
りやすい環境を作りたいということですので、道路のネットワークも含めた環境というこ
とで考えております。

○会長 道路以外でもということですね。

それから、「芦屋市の概況」の位置図で、市の全域と拡大図を出しておられますが、北部
地域が見えなくなっていますので、直された方がいかと思います。

その他いかがでしょうか。いろいろとご意見を頂きましたので、事務局の方で、今お答え
いただいた内容も含めて練り直しをして、ご説明いただいたスケジュールで今後進めていた
だく形になります。ですので、修正する内容については、事務局及び私の方へお預けいた
だければ、ご発言いただいた内容を極力反映した形で修正して、パブコメの原案とさせてい
ただければと思いますが、よろしいでしょうか。

○事務局 また、原案としてまとめましたら、皆様には送付させていただきます。修正によ
り、各事業者様、各管理者様に関する部分などがありましたら、ご確認をお願いしたいと思
います。

○会長 よろしいでしょうか。いろいろとご意見頂きまして、内容的にもかなり芦屋市で目
指す交通戦略が見えてきたかなというように思います。今日頂きましたご意見、非常に貴重
な部分があると思いますので、それを反映させた形で市民の皆様にご意見を伺うという手順
に進めさせていただければと思います。

それでは事務局にお返しさせていただきます。

○事務局 次回、第4回の交通計画協議会でございますが、来年2月頃に開催したいと考えて
おります。改めて日程調整等ご連絡させていただきたいと思いますので、よろしくお願
いいたします。

○会長 ありがとうございます。それでは、本日の協議会は以上とさせていただきます。
熱心にご意見、ご議論いただきありがとうございます。